

# 災害発生時、早めに避難しましょう

## 避難場所・経路の確認を

自然災害が発生したときは、みずからの判断で避難行動をとることが原則です。市は、災害が発生する危険性が高まった場合に、起こりうる災害種別に対応した区域を示して避難指示などを発令します。ふだんから、避難するときに必要なことを家族や地域で確認し、いざというときの行動について考えておきましょう。

### 確認1 生活の場にどのような危険があるのか

- 市が作成しているハザードマップや地域防災計画を見て、自宅や学校、職場などのよく立ち入る場所について、河川が氾濫した場合に何メートル浸水するか、土砂災害が起こりやすい場所ではないかなど、どのような危険があるのかを確認しましょう。
- 市指定の避難場所を確認し、そこまでの経路や移動手段を計画しておきましょう。市指定の避難所やハザードマップは市ホームページで、地域防災計画は「おおさか防災ネット」の吹田市のページで確認できます。



吹田市ハザードマップ



おおさか防災ネット

### 確認2 市から発令される避難情報について

- 災害情報の入手方法(市ホームページ、防災無線、防災アプリなど)を確認しましょう。  
市から発令される避難情報と市民がとるべき行動

| 警戒レベル | 避難情報    | 市民がとるべき行動                    |
|-------|---------|------------------------------|
| 5     | 緊急安全確保  | 命を守る最善の行動                    |
| 4     | 避難指示    | <b>全員避難</b>                  |
| 3     | 高齢者等避難  | 高齢者などは避難                     |
| 2     | 注意報     | 気象庁が発令<br>避難行動の確認<br>心構えを高める |
| 1     | 警報級の可能性 |                              |

**Yahoo! の防災アプリ**

現在地と国内3地点まで設定でき、さまざまな防災情報をプッシュ通知します。

ダウンロードはこちら

### 確認3 もしもの時に備えて考える

緊急的な対応について事前に備えておきましょう。

- 例1 大雨で避難が必要だが、避難場所までの移動が危険と思われる場合  
⇒近くのより安全と思われる建物(最上階が浸水しない建物、川沿いでない建物など)に移動。
- 例2 外出すら危険な場合(あふれた水が道路を流れている場合など)  
⇒自宅建物内のより安全と思われる部屋(上層階の部屋など)に移動する。

### 避難所での感染を防ぐために

避難所は、不特定多数の人が生活するため、飛沫・接触感染が生じやすい環境となります。感染を防ぐために必要な行動などを確認しておきましょう。

- 避難者**
- 体調不良の場合は受付にすぐに申告。
  - 自宅が安全であれば在宅避難を検討。など
- 避難所運営者**
- 定期的な検温・体調チェックの実施。
  - 人が触る部分の重点的な清掃・消毒。
  - 濃厚接触者を後追いできるよう避難者名簿に滞在区画も記録。など



詳しくは、市ホームページの「感染症まん延下における避難所開設・運営」で確認できます。市ホームページ



# しっかり備えて 早めに避難



梅雨や台風に向けて、水害対策を日頃から準備しておきましょう。  
固危機管理室(TEL6384・1753 FAX6337・1631)

## 非常時に備えましょう

### 非常持ち出し品・非常備蓄品の準備を

台風の接近が分かってから慌てて食料品などを買い込もうとすると、駆け込み需要で店内が混雑している可能性が高いうえ、必要な物が売り切れで買えないこともあります。日頃から準備をして、さまざまな災害に備えておきましょう。

### 準備OK? 今すぐチェック

#### 非常持ち出し品

すぐに取り出せる場所に用意しておくもの。

- 飲料水
- 懐中電灯
- 携帯充電器
- 軍手、ホイッスル、ヘルメット
- 携帯トイレ、ポリ袋、カイロ

トイレは災害時も我慢できません。  
1人1日5回分は確保しましょう。

#### 非常備蓄品

ライフラインが止まった場合に必要なもの。

- 3~7日分の非常食・飲料水
- 簡易トイレ
- 毛布、タオル、ウェットティッシュ
- 水タンク、使い捨ての皿・コップ
- カセットコンロ、ガスボンベ

備蓄品をおいしく食べるための必需品。  
ガスボンベは多めに(15~20本程度)確保しましょう。

感染症対策も忘れずに! マスク 消毒液 体温計

### 準備のポイント

- 各家庭に必要なものは異なります。避難生活をイメージしてチェックしましょう。  
例)乳幼児がいる家庭: ミルクやおむつ  
ペットがいる家庭: ペットの餌や生活用品  
薬を服用中の人: 薬と、お薬手帳を忘れずに
- 最低3日分の食料を。可能であれば7日分を備蓄しましょう。
- 1年に2回は中身をチェック。保存期限を確認しましょう。

### 「ローリングストック」を活用して上手に備蓄

「ローリングストック」とは、日頃から多めの食材を買い置きしておき、災害発生直後の食料として活用することです。災害への備えが必要と分かっても、たくさんの食料・飲料水の備蓄は困難です。非常食は保存期限前に早めに食べて買い足すようにしておけば、むだにならずに十分な備蓄が可能です。